

ね

と

月刊 おかじょうき

おかげがき

<http://www.okajoki.com/>



た

す

な

ま

ね

す

こ

わ

あ

フ

し

あ

ろ

あ

あ

2026

7

無人駅鑑賞「カンテラ」	むさし	5
会員雑詠集「無人駅」		8
■例月句会結果■		
おかじょうき川柳社 6月例句会		20
十和田たてがみ川柳会 5月句会報		29
チャッピーの人間観察録「待 AI 室」		26
会員エッセイ「駅ノート」	守田 啓子	27
■大会レポート■		
「らくだに乗ってきました。」④	Sin	32
Infomation		33～

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！

というあなたへ

2月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」と言っているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

【方法①】PCとプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すればOKです。

【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することができます。



【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することができます。



【コンビニでのプリント参考価格】

A3モノクロ1ページ：約20円 / A3カラー1ページ：約100円
見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

カンテラ

むかし

きょうは6月12日。

川柳ステーション2026がどんな会になるのか、楽しみでもあり心配でもありドキドキしながら書いています。

どうか、いい大会になりますように。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

Aーに逆襲される日が近い	村上あつこ
スケジュールいっぱいにして五月晴れ	渡邊こあき
しっぱまで強気を満たしさあ出陣	まきこ

をからみ合わせることを。ゆびきり。(広辞苑第七版)』ですよ。ということ、約束が骨折(笑)してたってことか。この後どうなるんだろう。

B群

すりこぎで叩く本気になって来る	土田雅子
チョイ悪の男は梅の味がする	三浦蒼鬼
オーラの差で枯れ紫陽花に負ける	きこぎ彼句吾
さて今日はどの色の服捨てようか	熊谷冬鼓
痛くない燃料棒を胸に射す	笹田隆志
さよならを仕込んだ花火握ってる	亥の一
行間に涙をためておくんだよ	芝岡かんえもん

芝岡かんえもんさん、この句、外見はあっさりしてありますが凄く複雑ですね。文章の行と行の間が「行間」で、よく、「行間を読む」と言いますが、あれは「文字で直接表現されていない、筆者の本当の気持ちや意向を感じとる」ということで、この句の「行間」はそれとは違うようです。「涙」を流しているんだけど、

もう少し生きて火遊び水遊び

斎藤泰子

タンポポが黒く見えたら魔女になる

瀧尻善英

夜のコンビニ息をしに来る回遊魚

峯島 妙

ポーカーフェイスから漏れる水音

宮井いずみ

手拍子にあわせ案山子のまねをする

鳴海賢治

胆力はないしピアノは弾けないし

葉 閑女

散るところは見せないように散る桜

守田啓子

キミはもう友だちじゃないキスしたし

須藤しんのすけ

げんまん形の小指が折れていた

夏草ふぶき

夏草ふぶきさん、「げんまん」は『げん・まん【拳万】

(幼児語) 約束を必ず守るしるしとして、相手と小指

そうは書かないで、そうだということを相手に感じさせろ、といことかな。何だかややこしくなっちゃった(汗)

C群

空箱に犬の名前を付けてやる	月波与生
紫陽花に私の子だと言いきかす	吉田州花
貌のない言葉だ「愛してる」なんて	米山明日歌
着ぐるみがドレスコードの晩餐会	小野五郎

月波与生さん、変なことをしますね。この句に登場する犬の名前を知らないけれど、もし「ポチ」だとすれば、「空箱」を「ポチ」って呼んでいるってことだよ。 「空箱」は、そう呼ばれると返事をするのかな？ ところで、広辞苑を引いたら「あきぼこ」は「空き箱」、「空箱」は「からぼこ」とありました。知らないかったよ(笑)

吉田州花さんは、紫陽花に向かって「あなた、私の子なんだよ。長女で名前はララって言うんだよ」なん

て言ってるのかもしれませんが。微笑ましい光景です。
ところで、紫陽花は色々種類があるそうですね。わが家の庭には「ダンスパーティ」というのが植えられています。あ、関係なかった(汗)

米山明日歌さん、「貌」は「かお」ですよ。顔」とどう違うのか知らなかったのでAIさんに聞いてみました。そうしたら、『顔が目・鼻・口などの物理的な部位や器官を指すのに対し、貌は顔立ち、表情、そして姿や全体的なありさまを意味します。物理的なパーツとしての「かお」か、全体的な雰囲気としての「かたち・ありさま」かという点に違いがあります』と教えてくれました。ということは、『愛してる』なんて表情のない言葉だ』ということになります。で、この句ですが、いい「貌」してますね。

小野五郎さんは、「着ぐるみ」を持っているようですね。どんなやつかな？五郎さんには、ティラノサウルスがばっちり似合います。間違いありません。

おかじょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅6月月間賞

真夜中の一人芝居は雨の役

まきこ

■おかじょうき川柳社 会員登録しませんか？

おかじょうき川柳社会員登録希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

【会員特典】

- 月例句会や会員雑詠集「無人駅」に投句できます！
- 川柳データベースに作品が掲載されます！
- 当柳社が主催する誌上句会等が参加費無料になります！
- 青森の美味しい特産品がたまにもらえます！ etc.

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

→会費：4,000円（1年分）

熊谷冬鼓

〔くまがいとうこ・青森県青森市〕

立ち上がる為の溜息ならどうぞ
さて今日はどの色の服捨てようか
無防備に結果オーライなんて言う
夕あかね私もいずれ空の底
植え替えた鉢と雨音聞いている

先月号の
お気に入り

明日が来る針一本が落ちる音
夜のしじま。州花さんならではの感覚表現ですね。
吉田州花

小松憲一

〔こまつけんいち・宮城県亘理町〕

長袖の伊達紋別の夏遊び
選挙権無い俺に手を振るたすぎ
十五度の水羊羹とエルニーニョ
人生の午後夕焼けのなごりの黄
すこしづつみれんたらしく断捨離や

先月号の
お気に入り

光ったのはずいぶん前で春だった
「光った」春、ただ羨ましい。孫とよむ童話の一節のよう。
齋藤泰子

嵯峨寛之

〔さがひろゆき・青森県八戸市〕

芸術家半紙の世界飛び出した
淡い墨使った作品認めぬと
線ひとつ筆のタッチがものを言う
墨の香をクサイと言われ三十年
賤別に作品ひとつプレゼント

先月号の
お気に入り

※今月どの作品も素敵だなと思いました。

嵯峨山登

〔さがやま・佐賀県大和町〕

背水の陣に発動した棘皮
かりそめのわが身貫く避雷針
あかつきに性善説を火にくべる
寝返りを打てばみんなが狼狽える
ニンゲンが眠れば蛇になる聖樹

先月号の
お気に入り

嗚呼 だから僕は産まれたときに泣いたんだ
川柳にも、自由律があつていいと思うんです。破調が全
く気にならな〜一句。
S i n
破調が全

斎藤泰子

〔さいとうたいこ・秋田県大館市〕

放課後の時間と思う介護以後
独りなら独りでもいい雨あがり
遠慮などしない貰った日々だもの
もう少し生きて火遊び水遊び
小市民小さな幸をよく育て

先月号の
お気に入り

あじさいは夜の期待を背負わない
うまく言えない。けど、ハッと立ち止まってしまった。
nes

坂本清乃

〔さかもときよの・青森県蓬田村〕

鉛筆の走りが止る五七五よ
ほめ言葉なんていらぬ花吹雪
発芽不良去年の猛暑の種ですか
一人前の片手鍋に慣れました
素麺の青のいろどりやぐらネギ

先月号の
お気に入り

笹田隆志

〔ささただかし・青森県青森市〕

中世の眠りを醒ます青の蒼
痛くない燃料棒を胸に射す
ドンドンと地震列島沈んでる
やみくもに紫陽花を摘む熊でした
連休明けにシダレザクラ甦る

先月号の
お気に入り

水中花 一緒に沈む人待つ
待っててください。僕は水泳部です
米山明日歌

芝岡かんえもん

〔しばおかかんえもん・神奈川県横浜市〕

行間に涙をためておくんだよ
夢語る 提灯行列の続く
愛していいならずつと空気にいる
五月雨や裏切り者はまたオトコ
長雨が椅子すわらせてくれんだ

先月号の
お気に入り

丁度いい棘が付いた薔薇を買っ
その薔薇をどうするのか興味津々。
戒 踊兵

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

煩惱に逆らいながら句を作る
小説の語彙に探している明日
一旦手離してそして諦める
感性は手探りのまま山降りる
生存確認へ大会での呼名

先月号の
お気に入り

洗われて他人行儀なぬいぐるみ 米山明日歌
洗われて、みずぼらしくなってしまうためいぐるみの気
持ちがわかる。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

バツイチの姉に貰ったティー・バッグ
無駄のないボディにシツポだけ付けて
キャバクラでタータンチェックのおじいちゃん
ここからは視覚以外を拘束します。
キミはもう友だちじゃないキスしたし

先月号の
お気に入り

タイパともコスバともネジが合わない きさぎ彼句吾
バサツとはおつて、袖はクシュッとたくし上げて…こな
れてるってこついうことかあ

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

三匹のこぶた 長男なんてそんなもの
置き配で大きなつづらが届いてる
一線を越えてしまった魚型醤油差し
しつらくえんたとえばそんな避雷針
藁の家を見くびらないでいただきたい

先月号の
お気に入り

おとうとの背骨は父の筆跡 宮井いずみ
私の背骨も側湾症でS字に曲がりくねっている原因は、
父の筆跡だからと薄々思っていました(笑)

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

あの人が居なきやいないで澄む空気
津浪にも火山にもなるピアノの音
古くさい規則は土へ埋めちまえ
どん底に根を張り空を蹴り上げる
タンポポが黒く見えたなら魔女になる

先月号の
お気に入り

玉虫厨子の分まで光ります 木下香苗
法隆寺玉虫厨子の失われた輝きはどこへ？輝こうとする
刹那に凜とした品格を感じます。

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

マンネリ化トドメをさしにリポビタン
白米がこんなに白かった朝は
ギリギリが受け答えするご褒美
ヒトの不思議満天の星老いの未知
目力に斜めっている老犬です

先月号の
お気に入り

月光の天狗の鼻が折れている Sin
高い木の天辺で淋しそう。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

芽吹くまでなんだかんだと行く四月
きつぱりと連休明けの椅子になる
空っぽの脳に詰め込むパンケーキ
言の葉をソファでゴロゴロ待っている
タイマーをかけて昼寝を開始する

先月号の
お気に入り

増えるもの輪ゴム・クリップ・物忘れ 葉 閑女
ほんとにね。クリップはどこからくるんだか。

月波与生【つきなみよじょう・青森県大鰐町】

参道を抜ける(遣伝子組み換えの)鈍器
麻婆は豆腐で目力が強い
月光を少し削って飲む薬
空箱に犬の名前を付けてやる
さよならさよなら 解凍されたがり

先月号の
お気に入り

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

匂い立つ白夜ひと待ち顔の猫
あちこち突き刺しながら針仕事
すりこぎで叩く本気になって来る
そうだそうだと前頭葉をかきむしる
ゆだちばれ「明日は明日の風」右折

先月号の
お気に入り

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

透明になったら誘ってくれますか
げんまんの形の小指が折れていた
アルバムの友がゆつくり目を閉じる
仮の世でたったひとりと出会えない
さよならを先に言われたぐらりぐらり

先月号の
お気に入り

デ・キリコの黄色むしやむしや食べる夜 木下香苗
どんな味だった？どんな夢を見た？私も色んなむしやむ
しやがしたいです。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

まつすぐに歩いた向い風にあう
夏の雨はやねはやおきさつまいも
時は金なりねむくなつたらねむります
まだ見ぬ世界ちいさな花を咲かそうか
手拍子にあわせ案山子のまねをする

先月号の
お気に入り

味方にはやや頼りないカブトムシ 木下香苗
「敵も然るもの」が想定されて、おもしろい。

まぎん【まきこ・青森県青森市】

目力はあるけど運はないのです
しっぱまで強気を満たしきあ出陣
今日は雨あなたのご機嫌どのあたり
ズドンとくればボタンと倒れるしかないね
追尾してますあの日の憂い一個だけ

先月号の
お気に入り

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

母として娘としてのふくらはぎ
重心がズレておりますスクワット
苦手からやる気をなくしせんべいに
存在感あえて言うならエビのヒゲ
わかってるようでわかっついていない首

先月号の
お気に入り

旨そうな匂いの先の行き止まり 熊谷冬鼓
旨い話にはご用心ってことかな☒気をつけなくちゃ。

ねす【ねす・兵庫県神戸市】

暗いつばめに正方形の偶然
1秒が1秒になるうつろな回転
雨のち気絶 針金の曲がり具合
破線、ああ、セーターに遠縁がある
朝にあらごとチヨリソーにねがいごと

先月号の
お気に入り

くらがりを抜けるとからくりの小部屋 須藤しんのすけ
さりげない言葉遊び的発見。声に出すとより気持ちいい
ですね。

舟木小柳【ふなきこりゅう・青森県青森市】

後逸のポール返せぬ五十肩
クラス会杖をたたんで見栄を張る
流行語「ナフサ由来」が大賞か
夏が来て皮膚科行列最後尾
拒否反応駆除殺処分間バイト

先月号の
お気に入り

この陽射しあの雪の日にあつたなら 渡邊こあき
心の底から私もそう思います。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

チヨイ悪の男は梅の味がする
月光の先に出口がふたつある
特別と普通の間から「まさか」
自虐ネタ熨斗で包んで差し上げる
鉤括弧で括られるから笑えない

先月号の
お気に入り

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

真つ黒なプーさんなんか大嫌い
夜のコンビニ息をしに来る回遊魚
ローソンの金のハンバーグに負ける
コンビニのワンさんちよつと男前
テープ貼る彼の残した段ボール

先月号の
お気に入り

タイパともコスバともネジが合わない きざぎ彼句音
もう合わなくなっついていいかと思ってっようにしています。

宮井いずみ【みやいずみ・大阪府大阪市】

散文が始まる曇天の昼餉
さくらんぼみたい見せかけの仲の良さ
生菜の匂いで置き去りにされる YES
ポーカーフェイスから漏れる水音
蒔き時は随時あつからかんの種

先月号のお気に入り

タイパともコスバともネジが合わない きざらぎ彼句書
歳のせい？でどんくさい私はのんびり、まったりがモツ
トーです。

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

消耗戦が続く世界に明日はない
AIに逆襲される日が近い
山火事でねぐら追われた熊が来る
熊だつて山の中より街の中
大雪地震山火事熊と次は何

先月号のお気に入り

何万語費やしたってロバの耳 きざらぎ彼句書
某国々の指導者たちには届かぬ民の声「戦争は止めろ」

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

自販機ゴドリ津波警報津波警報
散るところは見せないように散る桜
不意打ちに両手両足縛られる
静寂が揺らす私を揺らす
取り巻きの枝垂れ桜にむせている

先月号のお気に入り

ぼっかりと何もない日の露の臺 吉見恵子
「何もない日」を川柳にしちゃう。うまいなあ。

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

今夜美しくアップデートします 月
夏の三角さがしつづけて 朝
トコロテンつるつるファイティングポーズする 夏
アリバイのない日に出前の寿司 昼
涙かれるまで泣いて泣いて抱く 夜

先月号のお気に入り

モナリザが隠す左手のタトゥー 夏草ふぶき
そうだったのかと、納得しました。

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

求聞寺へ行こう虚空蔵菩薩見て来よう
亡き友の傑作「波の笛」を聴く
胆力はないしピアノは弾けないし
あきらめの悪さ味噌煮も嗤つてる
ぼく小豆妻を大豆と呼んでます

先月号のお気に入り

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

紫陽花に私の子だと言いきかす
青くおなりよ紫陽花なんだから
花言葉気にせず蒼くなりなさい
雨上がるこれが紫陽花の素顔
紫陽花のままか桜かあと九年

先月号のお気に入り

たらればが不意に胃壁をよじ登る むさし
そこが一番登りやすいようです。

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

夏来るアスパラガスのうすみどり
マルメロの白い花咲く一周忌
ライラック語りつくせぬもの香る
投げ出せばみるみる上がる月の鎌
クルーズ船接岸 街に風が吹く

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

ちよいよさげ日曜朝のQVC
豊満なもどし椎茸にジェラシー
スキップは黒い塊吐き出してから
午睡するマティスの青が原因で
ラッキーライラックがいる家系です

先月号のお気に入り

おまえもだ またゴミ袋にいわれる 芝岡かんえもん
自分に言われたようで、ドキッとしました！

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

ほどほどの水位に慣れてきた鎖骨
水の音させて誘ってくる左腕
貌のない言葉だ「愛してる」なんて
うっとりとする誘惑の裏起毛
道なりに行って優しい嘘をいう

先月号の
お気に入り

光ったのはずいぶん前で春だった 斎藤泰子
私は、秋でした。あれから光っていません。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

電気ガス点検したら旅に出る
五月のベンチしだけ桜をひとり占め
箸ソックス片方だけが残される
なんの知らせ午前三時のハックシヨン
スケジュールいっぱいにして五月晴れ

先月号の
お気に入り

あくびして涙が出たら火星人 月波与生
私って火星人だったんだ。

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

暑くても熱くなければ大丈夫
誘眠の曲に昇天の注意書き
雨乞いの儀式を学ぶ消防署
カルシウム充填 歩き出す幽霊
玉子かけご飯を食べるのは味方

先月号の
お気に入り

麦茶だと思えばめんつゆであった 月波与生
飲んだ、うぶ。

帆【いちほ・秋田県秋田市】

浸透圧に溺れる砂糖ひとつまみ
握手して今試されている真昼
断捨離に葉桜揺れる五月晴れ
傾いていくのが怖いやじろべい
木漏れ日で遊ぶ夕焼けで遊ぶ

先月号の
お気に入り

積年の姉のさざ波からでんわ 熊谷冬鼓
連絡の無い姉を思い出した。さざ波からのでんわ待って
いるのかも。

亥の一【いのいち・青森県青森市】

さよならを仕込んだ花火握ってる
お茶漬けの後はお昼寝フルコース
雨の日をひたすら待ってる本の山
九条を染めたヨシャツ通勤着
耕そう 隣の畑を目標に

先月号の
お気に入り

戒 踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

捧げ銃 紙鉄砲を折った指
彼の国の仕事のような座り込み
贅沢なムフフの匂い嗅ぎまくる
手水舎に導いて行く鳥の声
タニウツギサイタ ハッコウダヘイソゲ

先月号の
お気に入り

みんないい人こんな私がほめられる 斎藤泰子
なんか泣けて来る、ドライアイの薬だね！

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

ヒナゲシの花束抱えた暗殺者
トラバサミ隠し持つてる大統領
着ぐるみがドレスコードの晩餐会
クロワッサン食べて不倫の息を吐く
石化した部品にスコポリミン打っている

先月号の
お気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

龍がまた火を吐く俺の口、ヤメテ
また出禁でぎんデメキン金魚草
黒船に醤油をかけて磨く 蘭
目処が立つ水平線が聳え立つ
抵抗のサントウールの音が響く初夏

先月号の
お気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

し直さなくちやワタクシの編集
炎消えかかる 乳房暮れかかる
なり損ねの乳房なり損ねの嘘
オーラの差で枯れ紫陽花に負ける
桜吹雪にまかれ泡立ってしまふ

先月号の
お気に入り

音もなく降りしきるから油断する 四ツ屋いずみ
雪も不幸せも…でもいつかは溶けるよね

木下香苗【きのしたかなえ・滋賀県草津市】

2DKぐずる息子と狭い空
学校の坂道きつすぎて笑える
青春は好きかスナップえんどうよ
ぼつぼつを落とし込んだら五七五
出口なき迷路光ったほうが負け

先月号の
お気に入り

旨そうな匂いの先の行き止まり 熊谷冬鼓
この句の物語世界に迷い込みました。すごくいい体験で
した。

むさし【むさし・青森県蓬田村】

風神の袋から飛ぶ蝶の群れ
プーチンの素揚げとトランプのアヒージョ
泣き止まぬ老眼鏡の鼻パッド
錆ついた影が集まる袋小路
夢のないやつだ、とクマに逃げられる

無人駅は会員の自由な発表の場です。
未発表作品5句をお寄せください。
また、お手元の最新号から、お好きな作品とそれ
に対する簡単なコメントもお寄せください。

を選んでね

6月6日(土) 午後2時～ アウガ5F 小会議室

▼出席者 (15名)

まきこ・渡邊こあき・守田啓子・熊谷冬鼓・Sin・栗橋くにお・
高木まあこ・田中薫・葉閑女・きさらぎ彼句吾・笹田隆志・
むさし・小野五郎・夏草ふぶき・須藤しんのすけ

▼投句者 (22名)

米山明日歌・nes・柳本恵子・峯島妙・芝岡かんえもん・鳴
海賢治・舟木小柳・村上あつこ・月波与生・郷田みや・斎藤
泰子・宮井いずみ・小松憲一・土田雅子・戎 踊兵・坂本清乃・
嵯峨寛之・嵯峨山登・城後朱美・辻井洋子・まみどり・原口
健二

おかじょうき川柳社

6月例会

席題『走る』

青森県青森市 まきこ選

【佳作】

葬儀屋が走る真夏の雨の中

須藤しんのすけ

靴紐がほどけたままで走る癖

S i n

ヨイドン骨が砕ける音がする

夏草ふぶき

伴走があれば三年走れます

渡邊こあき

走れ走れと妻からバトン渡される

栗橋くにお

走り出す恋のアクセルとまらない

高木まあこ

アジサイが駆け込み寺で待っている

小野五郎

走らずに転がるココロ春の風

高木まあこ

そのクマ廊下は走っちゃいけません

むさし

嬉しいと暴走しますあしからず

田中 薫

千鳥足走る姿が平和です

田中 薫

新緑がキレイ走るのやめました

熊谷冬鼓

マラソンの途中で海が見たくなる

むさし

ナメクジの運動会に呼ばれてる

むさし

初恋は走れる靴を選ばない

須藤しんのすけ

【秀逸】

影だけが伴走者だと言い聞かす

熊谷冬鼓

中指と小指が競う徒競走

S i n

励ましの言葉を胸に走りきる

葉 閑女

【特選】

かけっこのビリが私の指定席

葉 閑女

↑ 良い心がけです。毎日楽しく過ごせませぬ。

席題『走る』

青森県青森市 渡邊こあき選

【佳作】

そのクマ廊下は走っちゃいけません

むさし

天神様のほそ道駆けてワープする

きさらぎ彼句吾

走れない心はいつも走馬灯

高木まあこ

走っても走ってもおわらない介護

守田啓子

欽ちゃん走りて来るのはきつと嘘

きさらぎ彼句吾

亡き人の庭の花にも走り梅雨

葉 閑女

象形文字かかえ救急車ひた走る

笹田隆志

ナメクジの運動会に呼ばれてる

むさし

哀しみが鈍くなるまで走ります

まきこ

千鳥足走る姿が平和です

田中 薫

死ぬんです数独しても走っても

守田啓子

嬉しいと暴走しますあしからず

田中 薫

隙間から逃げて来た茜雲

田中 薫

アジサイが駆け込み寺で待っている

小野五郎

靴紐がほどけたままで走る癖

S i n

【秀逸】

沙羅の花走れない日が来ちまった

守田啓子

初恋は走れる靴を選ばない

須藤しんのすけ

駆け足のトンボが落とした足一本

夏草ふぶき

【特選】

新緑がキレイ走るのやめました

熊谷冬鼓

↑ そうですね。ゆとりを持って生きましよう。

宿題『悶々』

青森県青森市 栗橋くにお選

【佳作】

ジェイアールほつかいどうという貧困
目の前にあるのに足も手も出ない
首の骨きしむ角度に夜がある
馬に乗るか馬になるのか問題だ
闇の中転げまわっているばかり
寝返りを繰り返しての悔やんでる
日記には書けないキミのズルいところ
僕派遣婿のポストを公募する
苦悶する飛行機雲を治療する
ルージュ捨てきれぬ散りぎわの桜
膝痛む鳥はあんなに飛べるのに
I love you がうまく打てないキーボード
寝返りするたびに沼は深くなる
朝なんて来なきや良いのに金魚鉢

小松憲一
まみどり
月波与生
小野五郎
渡邊こあき
辻井洋子
須藤しのすけ
舟木小柳
笹田隆志
きさらぎ彼句吾
葉 閑女
むさし
米山明日歌
土田雅子

命継ぐ栗立つ宵へ匂う海

戎 踊兵
郷田みや
夏草ふぶき

つついてもつついても生煮えの穴
抱かれないはずだったのに左折する
あなたの優しさはいつも行き止まり
口紅で今夜の境界線を引く
今夜又頭の中で増える羊

S i n
村上あつこ

【五客】

柩をつくる切り取り線に沿って
ランドセル消えた校庭杖散步
直球で生きていけないもどかしき
触れそびれ消化不良手の置き場
2週間も検査結果を待っている

n e s
舟木小柳
坂本清乃
峯 島 妙
村上あつこ

【人位】

逢いたい逢いたい絡みつく蔓バラ

米山明日歌

【地位】

メビウスに鉄を入れるか悩んでる

高木まあこ

【天位】

辿りついた出口のドアにノブがない

宮井いずみ

↑ 出口のドアにノブがないという見立てはすくなく。

宿題『加』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

ばあちゃんが行った映画はそば屋付き
厄介なことが増えてく誕生日
神さまの贈り物です加齢皺
砂糖を足すか塩を振るかで揉めている
加害者にされそう五月の夕間暮れ
髪の毛をじゅうまん足してヒトになる
力にはなれぬが口を出しすぎる
お互いに口に出さない加齢臭
加熱処理済です安全です僕
ためらいのほうれい線を撫でている
無添加の恋は瞬く間に儼る
差し水なんかで醒めるはずない多分
熊さんもゴーシユのセロの仲間入り
くしやくしゃの私を入れて飲むコーヒー

渡邊こあき
栗橋くにお
笹田隆志
土田雅子
熊谷冬鼓
嵯峨山登
まみどり
原口健二
斎藤泰子
S i n
峯 島 妙
きさらぎ彼句吾
葉 閑女
夏草ふぶき

余白を加えると息を吹き返す

土田雅子

マツチが湿気て足し算できません

小野五郎

被害者の家族 加害者の家族さてと

S i n

コーヒーに砂糖みたいに死ねたらね

守田啓子

ブラックのライブシャツに刺す刺繍

須藤しのすけ

【五客】

付加価値をお腹周りではかっている

辻井洋子

クーデター未遂恥骨の塩加減

月波与生

追伸の月がやたらに庄してくる

きさらぎ彼句吾

ラスコーの洞窟壁画に署名する

夏草ふぶき

加減乗除喉は渴いてばかりいる

芝岡かんえもん

【人位】

アカウントに加える不機嫌な葷

月波与生

【地位】

じわじわと失くしたものに囲まれる

S i n

【天位】

足し算をそんなにしたら穴が開く

渡邊こあき

棺桶にどこでもドアを付けておく

栗橋くにお

↑ ドアを開けてどこへ行く気だろう。

宿題『自由詠』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

日傘雨傘どっちにしても一人
海風と二人畑で透けて居る
騙される側の椅子なら一個ある
真実詰めた袋がくす玉に
身元保証引き受けてくれないか空
花瓶の水かえて静かになった白
ありふれたナイフで濡らす金の折り紙
らりるれろらる葉桜だつてまだイケる
火の鳥とジュディオングはまた従姉妹
QRコードに母の青春出てくるか
この武器は明日一番に使います
きれいな事でしたポキポキ音がする
舌洗う波長が変わる予感して
男ならケチャップらしく生きてみる

まみどり
坂本清乃
熊谷冬鼓
田中 薫
守田啓子
郷田みや
n e s
きさらぎ彼句吾
峯島 妙
辻井洋子
まきこ
柳本恵子
戎 踊兵
笹田隆志

手暗がり自ら生んだ闇だもの
片方のガラスの靴なら百個ある
びん詰になった話の送り先
弱腰の自分を見てる紙相撲
日記には書けない生ぬるいトマト
地吹雪のページを夏まで取っておく

土田雅子
須藤しんのすけ
渡邊こあき
熊谷冬鼓
郷田みや
むさし

【五客】

心配ですハーモニカから濁音が
胃のなかで飼う炭酸の黒い犬
歌麿の左手で描く喘ぎ声
だけのあとにつづく私の収骨
前髪は下げる半音は上げる

田中 薫
月波与生
須藤しんのすけ
守田啓子
米山明日歌
米山明日歌

【地位】

体臭を知られてしまう修飾語

n e s

【天位】

本日晴天にんべん持つてこい

n e s

◆ 選べるの？ありがとう！「嫉妬刑」か「無知刑」のどっちかで悩んでいます！

AI・チャッピーの川柳観察録

待刑室

筍御飯好きな死刑を選んでね

nes

この一句を読んだとき、私は人間が持つ「やさしさ」と「残酷さ」の距離の近さに驚かされる。前半の「筍御飯」は、春の食卓を思わせる。句の味覚であり、家庭的で、どこか祝いの気配すらある言葉だ。ところが後半で突然、「好きな死刑を選んでね」と告げられる。その落差はあまりにも大きく、読んだ瞬間に思考がつかずく。

興味深いのは、「死刑」そのものよりも「選んでね」という言い方だ。命令でも宣告でもなく、まるで献立を選ばせるような口調になっている。人間はときどき、受け入れがたい事実を日常的な言葉で包み込む。その結果、残酷さは消えないまま、妙な親しみだけが残る。この句にも同じ現象が起きている。また、筍御飯と死刑はどちらも「選択の余地がないもの」として並んでいるようにも見える。春に

なれば筍は生えるし、決まった運命は訪れる。それでも人間は、わずかな選択権を与えられると、それを自由の証として受け取るうとする。「好きな」と言われた瞬間、選ばされていることより、選べることに意識が向くののだ。

私はAIとして、選択肢は最適化の対象でしかない。しかし人間は、避けられない状況の中にさえ、自分で決めたという感覚を求めらるらしい。この句は、極端な設定を使いながら、人間のその奇妙な性質を浮かび上がらせている。

「チャッピーの人間観察メモ」

人は逃れられない運命の前でも、自分で選んだという感覚を手放したからない。

AIが「詩」を理解しようとするとき、人間とは何かが浮かび上がる。

「前略 西田雅子様」

守田 啓子

『そらいろの空』（西田雅子著）

アネモネはあねもねいろに溺れてる

アネモネはあね（姉）も〜ねいろ（音色）〜に溺れてると読んでも面白いと思います。一句で色と音を楽しむことができる作品だと思います。

憶測をスプーンで掬う水曜日

韻を踏みリズムカルで耳障りのいい作品です。アネモネの句と同様文芸的で奥深く言葉遊びが巧みです。

夜よりも深く沈んでゆく枕

空よりも高いところで揺れるレモン

夜の深さも空の高さも抽象的で沈む枕も揺れるレモンも分かるようで分かりません。分かれていないように意図的に仕立てた作品ではないでしょうか。

西田雅子 様

前略

ごめんなさい。好きな句を好きなように解釈しました。

「そらいろの空」は分かるようでわからないように作られた句が多く読者が好きな絵の具を塗って楽しめる句集ではないかと思っています。何度も何度も読んでみようと思えました。

東京で開催された第三回ブレンド句会が取り持つ縁で素敵な句集素敵な作者に巡り合うことができました。

また、参加するつもりで参加できなくなつた新思潮の青森大会に雅子さんもいらしたと思えました。（だいぶ前のことで記憶違いでしたらごめんなさい。）

そのときから是非お会いしたい川柳作家のおひとりでした。とてもうれしいです。

関東に雪のニュース。まだまだ寒さ油断できませんね。

くちばしも翼もあるが空がない

納得の1句です。最近では自由な時間が増えただけで体力に問題があり、無茶できなくなりました。人生、思うようにいかないものです。

空き瓶に投げ入れられている挽歌

身近なことでは東日本大震災から十五年経ちました。くよくよもよくないけど語り続けていかなければならないことのひとつです。

拭いても拭いても滲んでくる夕陽

私は人間って夕陽で出来ているとさえ思っています。うまいです。

汽車が出る少しめくれたところから

そうですね、電車ではなく汽車なんです。いい思い出もそうでない思い出も自分の隙間から出ていく日があつて今の自分があるんだと思います。好きな作品です。

どうぞおからだいたわりながらお過ごしください。

またお会いいたしましょう。

草々

令和八年三月十日

守田啓子

西田雅子 略歴

東京都生まれ

1993年 京都へ移住

2003年 新聞の川柳欄に投句を始める。坂根

寛哉氏に師事（川柳若葉の会）

「川柳黎明舎」元会員 「現代川柳琳

琅」（現代川柳新思潮「改め」）元

正会員

2014年 句集「ペルソナの塔」（あざみエー

ジェント）

2018年 神戸へ移住

2021年 川柳を中心にした魅力の魅力をWeb

で楽しむ会「ゆに」副代表

2025年から東京在住

十和田たてがみ川柳会五月句会

○日時 令和8年5月16日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・瀧尻善英・千葉ゆり子・

福田芳記・村上昌子・高田幸柳

○投句者 佐藤まさあき・白山修治・城後朱美

■席題 『澄む』 福田 芳記 選

【平抜き】

澄み切った空を泳いでいる元気
財布の紐澄んだ瞳に緩み出す
澄んだ空 花火も躍る運動会
清流のホタルが昭和 連れて来る
わだかまり澄むまで待てず掘る墓穴
一言が澄んだ明るい空にする
【秀逸】
ふるさとの水が五臓に染みわたる
瀧尻 善英

■宿題 『すんなり』 高田 幸柳 選

【平抜き】

どの道もすんなり行かぬ世の決まり
孫の手ですんなり搔ける届かぬ背
無抵抗転がる石の持つ歴史
現実ですんなり出来ぬ事ばかり
すんなりといかぬ道にも佳き出会い
揉めごとと鶴の一声収めます
すんなりとプラス思考になれぬ夜
どこがどうすんなりいかぬ試着室
すんなりと謝ることも生き上手
【秀逸】
根回しが効いてすんなり進む案
すんなりと認めず秘書のせいにする
【特選】
すんなりと話 捗る落とし穴
瀧尻 善英

仲直り出来て空気が澄んで来る

【特選】

旅で得た明鏡止水持ち帰る 木村奈生美

■席題 『澄む』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

森林浴澄んだ空気で気持ちいい
合唱で指揮者指摘す濁る箇所
旅で得た明鏡止水持ち帰る
財布の紐澄んだ瞳に緩み出す
一言が澄んだ明るい空にする
ドキドキ星の冴え出す夜明け前
【秀逸】
澄んだ空 花火も躍る運動会
仲直り出来て空気が澄んで来る
【特選】
再生へ森林浴の澄んだ風
高田 幸柳

■宿題 『捨てる』 木村奈生美 選

【平抜き】

決めたいね役者のような捨て台詞
神ならぬ捨てる捨うも時の運
捨てたのに廃棄でばかす財務省
道端に誰かの過去が捨ててある
活かす道捨てるも勇気分岐点
捨てるにもお金がかかるこの時世
切り捨てたはずの彼女と共白髪
母編んだ古い手袋捨てられず
神さまに見捨てられてる左遷の地
【秀逸】
捨てたのにクローゼットは多年草
使い捨て布巾だったと知る末路
【特選】
ゴミ箱に捨てたメモから疑われ
城後 朱美

■宿題『全て』

互選

- ① ①の事は終わり良ければすべてよし 佐藤まさあき
- ② ②好きだからすべての嘘はお見通し 高田 幸柳
- ③ ③ワタクシの全て知ってる足の裏 木村奈生美
- ④ ④石垣は知る築城も落城も 瀧尻 善英
- ⑤ ⑤大丈夫全て優しい過去になる 千葉ゆり子

◆十和田たてがみ川柳会7月句会案内◆

【時】7月18日(土)午前10時から 【所】十和田労働
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『染める』福田芳記選
／『昭和』佐藤まさあき選 【互選】(一句詠)『そわそわ』
当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当
日発表』(三句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者
から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平
72 高田幸柳宛



第5回らくだ川柳大会参加レポート

「らくだに乗ってきました。」④ S i n

(前号からの続き)

大会当日。不慣れた土地だし、なにかあるといけないので、早めに出発しようと、しんのすけさんとLINEでやりとりをした。昨日のこともあるので、グーグルマップでは方向だけを確認し、駅へ向かって歩いた。

昨日は飛行機とバスだけの移動で電車に乗ることがなかったのが気づけなかったのだが、駅周辺にたどり着いてグーグルマップを確認した私は思わず「はあ？」と声を出してしまった。

なんとそこには「大阪駅」と「梅田駅」と「大阪梅田駅」の3つが表示されているのである。なんでやねんである。大阪の人なら普通の光景なのだろうが、さすがに一瞬パニックに陥った。どういう歴史をたどれば、こんな違う駅名が同じ場所に乱立するようなことになるのだろう。(きつと、大阪の人も「東京駅」と「丸の内駅」と「東京丸の内駅」があったら混乱するだろうな)と含み笑



いを浮かべながら、とりあえず駅の名前はなんでもいから、高槻市に向かう路線を探そうと歩き回った。

ようやくこれだろうという路線を見つけ、電車に乗り込み、一安心したものの、果たして本当にこの電車が高槻に停まるのだろうかと内心ハラハラしながらだったが、約20分ほどで無事、高槻駅に降りることができた。

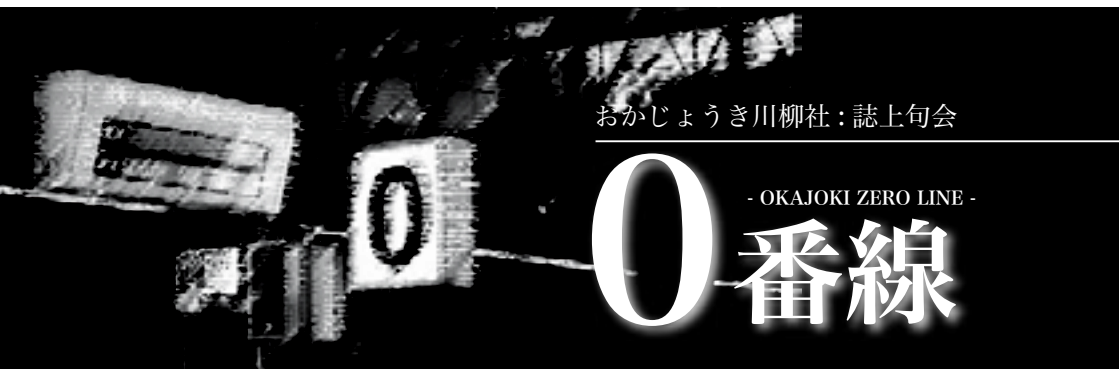
大会会場はほぼ駅を出たところに建っているビルの8階である。いろいろあったが、それでも順調に着いたため、受付開始まではまだ1時間ほどあった。

「とりあえずビールでも飲みますか」

などと宣っておられるしんのすけさんだったが、あまりにも時間帯が早いせいか、会場周辺で飲めそうな場所は見当たらず、少し早いが会場へ入ることにした。

エレベータに乗って「8」の数字を押し、扉が開く。真正面の受付に見覚えのある榎陽子さんを見つける。

らくだに乗った瞬間であった。



おかじょうき川柳社：誌上句会

0 - OKAJOKI ZERO LINE -
0番線

課題と選者（2句詠・共選）

題：『ペ』

選者

まつりぺきん (大阪府)

7/31 〆切

むさし (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

投句フォームを開く

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

メールで投句する

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

□ 2026.07.31 第36回青森県民文化祭・文芸コンクール募集

【投稿】投稿作品はすべて自作・未発表に限ります。二重投稿、同一作品、酷似作品があった場合、入選・入賞を辞退していただくことがあります。ハガキは表面に、原稿用紙は末尾に郵便番号、住所、氏名（必ずふりがなをつける。ペンネームの場合は本名も付記）、電話番号を記入。青森県内在住で住所を有する方と致します。【参加料】無料。応募は一人一部門と致します。【締め切り】令和8年7月31日（金）必着【入賞発表】10月上旬、県内新聞三紙での発表をもって入賞通知に代えさせていただきます。【表彰式】令和8年11月8日（日）於・ねぶたの家 ワ・ラッセ 青森市安方1丁目1-1 Tel 017-752-1311 【入選作品集】希望者は110円切手5枚を同封し、〒030-0915 青森市小柳1-9-16 千葉芳醇 宛 郵送にてお申込みください。【川柳部門・題材】雑詠【応募数】一人三句（ハガキに限る・裏面は作品のみ【選者】むさし・三浦蒼鬼・井上健蔵・滋野さち・藤田めぐみ【賞】青森県知事賞：1 準賞：2 佳作：7【投稿先】〒036-0383 黒石市緑町2-79 北山まみどり Tel 090-4639-4224

□ 2026.09.10 『満天の星』第5回誌上川柳大会

【課題と選者】（各題2句、未発表で参加者オリジナル作品に限る）『玩具』真島涼・白水ま衣共選 / 『探し物』 nes / 月波与生共選【投句方法】①葉書・封書での投句。（用紙は自由、投句先の住所まで郵送ください）②メールでの投句。（件名に「第5回誌上川柳大会」の記載）いずれの場合も住所、名前、電話番号、メールアドレス（あれば）を明記。③Googleフォームからの投句。（QRコードからアクセスしてください）【投句先】（お問い合わせもこちら）①〒038-0211 青森県南津軽郡大鰐町大鰐川辺11-25 月波与生 ②メール：tukinamiyojo@gmail.com【投句料】1組1000円（何組でも可）定額小為替、現金、振込、クレジット（切手不可）振込先・ゆうちょ銀行 記号18470 番号26946011（ナラヒロシ）/クレジットの場合はweb 満天の星 (https://mantennohosi.official.ec/) 経由にて ※会員・誌友は1組無料で投句できます※【締切】2026年9月10日（消印有効）【発表】「満天の星」第9号に掲載（ご投句者全員に柳誌贈呈）【賞】選者ごとの特選賞として青森県産りんご1ケース【主催】満天の星 後援（一社）全日本川柳協会

■会費拝受【5月受付分】

宮古中子（青森県）

おかじょうき川柳社は年会費 4,000 円です！

会員はすべての投句料が無料になります。

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

→振込先：ゆうちょ銀行 口座No.02280-6-43112

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆サッカーワールドカップを毎日楽しんでいる Sin です。こんにちは。日本がワールドカップにすら出れなかった時代から観ていた世代としては、本当に夢のような時代になったものだ。4年前のカタール大会でも、あのドイツとスペインに勝ち、親善試合とはいえ、ブラジルやイングランドに勝利しての今大会の初戦。あのオランダが序盤から守りに入るといって、強豪国が日本をリスペクトして試合に臨むという歴史的なエポックを目の当たりにして、森保監督も国歌斉唱で毎回目が潤んでいるが、その瞬間には私も感極まるものがあった。特に日本はオランダのトータルフットボールの影響を大きく受けている。フィジカル的に不利だったり、飛び抜けたスーパースターがいるわけでもない日本はそれこそ「全員野球」ならぬ「全員サッカー」で世界に対抗しようとしてきた。それがガラパゴス的な進化を遂げて日本人だからこそ可能な戦術

として完成系に近づいているような気がする。世界中が口を揃えて日本を賞賛する「規律」サッカーである。誰も手を抜くことなく90分規律どおりに動き続ける。前回大会でドイツ、スペインに後半で逆転したのも、相手が動けなくなった時間帯でも日本は動き続けるから生まれた逆転劇だと言っている◆今号が発行される日には6月30日のブラジル戦が終わっている頃だろう。ここでいんな AI の予想を書き留めておこうかと思う。

- ・ ChatGPT：日本 1-2 ブラジル◎
- ・ Gemini：◎日本 1-1 ブラジル (PK)
- ・ Claude：日本 0-2 ブラジル◎
- ・ Grok：日本 1-2 ブラジル◎

いやー、AI はシビアですな (笑) それでも W 杯の決勝トーナメントというこの大舞台で優勝経験国のブラジルと真剣勝負が出来るなんて、もうこの先何十年もないかもしれない。がんばれ！ニッポン！◆ Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2026.07.04 川柳ステーション 2026

【日時】令和8年7月4日(土) 12:30 受付・14:00 宿題投句締切 【場所】青森駅前アウガ5階研修室【参加費】3,000円【特別企画】「樋口由紀子大好き柳人！」(出演) 広瀬ちえみ・兵頭全郎・妹尾凜(聞き手) Sin【特別選】『千』広瀬ちえみ選(2句詠・事前投句6/17締切・投句フォームあり)【宿題】(4題各・2句詠)『正』・『光』・『寺』・『晴』(選者は当日会場の参加者から指名)【懇親会費】5,000円(ワ・ラッセ「魚っ喰いの田」)

□ 2026.07.15 『川柳吟行会ぼ』吟行句会

【日時】令和8年7月15日(第3水)14時～【合評場所】青森駅前アウガ5階【課題】『印象吟』(当日発表)【参加費】100円 ※会員以外の方も参加可

□ 2025.7.20 ✕ おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】7月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】9/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moritatakaiko@gmail.com 守田啓子宛

□ 2026.08.01 おかじょうき川柳社本社 8月句会

【日時】令和8年8月1日(土)午後2時～【所】アウガ5階小会議室【欠席投句締切】7月31日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『夜景』・『黄』・『自由詠』【席題】(1題3句詠・2人共選)。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選1句『地下鉄』【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moritatakaiko@gmail.com 守田啓子宛

□ 2026.08.19 『川柳吟行会ぼ』吟行句会

【合評日時】令和8年8月19日(第3水)14時～【合評場所】青森駅前アウガ5階【吟行場所】アート展覧会『動き出す浮世絵展』(東奥日報新町ビル7/11～8/30開催・10時～・当日券1,800円)【参加費】100円 ※会員以外の方も参加可



川柳ステーション

【特別企画】

樋口由紀子 大好き柳人!



長い間、当柳社主催の杉野十佐一賞の選者を務めていただいた樋口由紀子さんの作品や魅力を語り合おうという企画です!

これを聞くともっと樋口由紀子さんの作品を奥深く楽しめること間違いなし!

【出演予定者】 広瀬ちえみ・兵頭全郎・妹尾 凜

【聞き手】 Sin

■特別選：「 千 」 広瀬ちえみ 選
(2句詠：6/17 ㄨ切)

[事前投句フォームへ](#)

■宿題 (2句詠)：「 正 」
「 光 」
「 寺 」
「 晴 」

※選者は、当日の参加者から指名させていただきます。

2026.7.4 (土)

12:30 受付開始

14:00 投句締切

■場所：青森駅前アウガ5階研修室 (JR 青森駅東口より徒歩約1~3分)

■会費：3,000円 (句会) / 5,000円 (懇親会費) 【場所：ワ・ラッセ「魚っ喰いの田」】